

## TICAD7 2019 JICA サイドイベント 登壇

### 自国の障害当事者の抱える問題について発表

**！ぜひご取材下さい！**

JICA 東京では8月19日(月)から9月13日(金)までアフリカ諸国を対象に、障害者の自立生活の促進を目的に9ヶ国10名の障害当事者リーダーに対し研修を実施しています。

車椅子、クラッチ、視覚障害などの障害当事者研修員は日本及びタイでの障害者の自立生活の制度及び発展の経緯について学び、自国でも障害を持つ人たちが自立した生活を送れるようになることをめざし研修を受けています。



【昨年度の研修の様子】

#### 【研修概要】

研修コース名：「アフリカ地域 障害者のエンパワメントを通じた自立生活促進」

研修期間：2019年8月19日から2019年9月13日

（日本滞在は9月7日まででその後タイにて研修を行います）

委託先機関：特定非営利活動法人 DPI 日本会議

参加者：ベナン(1名)、エジプト(1名)、エスワティニ(1名)、マラウイ(1名)、ナイジェリア(1名)、セネガル(1名)、南アフリカ共和国(2名)、スーダン(1名)、ジンバブエ(1名)

イベント詳細は以下の通りです。

イベント名	障害とアフリカ開発：地域社会への包摂に向けて
共催	認定 NPO 法人 DPI 日本会議

開催日時	2019/08/30(金) 15:30 から 17:30
会場	JICA 横浜「かもめ」 <a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/office/access.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/office/access.html</a>
対応言語	日本語、英語、フランス語
背景	アフリカの障害者は地域への包摂を目指し、自立生活運動など開発の主体として取り組んできた。誰も取り残さない世界の実現に向けて、アフリカの障害者が果たす役割を考える。
目的	自立生活などアフリカの障害者リーダーの経験を分かち合い、インクルーシブなアフリカの開発に障害者がどのように貢献できるかを協議する。
キークエスト	アフリカの障害者リーダーはどのように誰も取り残さない社会の実現に貢献できるか？
登壇者 ※変更になる可能性がございます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Mr. Mussa Albert Chiwaula 南部アフリカ障害者連合(SAFOD)事務局長</li> <li>・研修員 1～2名 (JICA 課題別研修「アフリカ地域 障害者のエンパワメントを通じた自立生活促進」研修員)</li> <li>・Ms. Zukiswa Nzo JICA アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABE イニシアティブ) 研修員</li> </ul>

## 【問い合わせ先】

取材をご検討いただける際には、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

## 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 人間開発・計画調整課 定家 陽子

TEL 03-3485-7661 e-mail : [ticthdop@jica.go.jp](mailto:ticthdop@jica.go.jp)